

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小倉 康宏
 (氏名) 河内 正美

TEL 0277-54-7101

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,553	△1.0	579	△14.5	528	46.5	364	△1.4
23年3月期第2四半期	19,749	41.8	677	—	360	—	370	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 394百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	24.34	—
23年3月期第2四半期	24.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	37,744	12,926	33.7	848.94
23年3月期	37,847	12,682	33.1	834.44

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 12,729百万円 23年3月期 12,512百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期期末配当につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,070	△1.9	700	△26.1	650	1.9	450	△43.7	30.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	15,533,232 株	23年3月期	15,533,232 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	539,116 株	23年3月期	538,014 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	14,994,725 株	23年3月期2Q	14,996,332 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ユーロ圏経済が欧州債務問題の影響から減速傾向を強めており、米国においても財政・格下げ問題から不透明な状況が続いています。中国においては金融引き締めから景気減速傾向が見られるようになり、これまで順調に推移してきた東南アジアの景気も、タイ洪水被害の影響が懸念される状況にあります。

国内においては、東日本大震災の影響からの回復過程にあり、自動車製造業のサプライチェーンの復旧を牽引役として景気回復が見られますが、欧米の景気減速や超円高水準の定着、電力問題といった下押し圧力や懸念材料が残ることから、景気回復の勢いが限られ、不安定な展開が予想されます。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。当第2四半期連結累計期間における売上高は19,553百万円と前年同期と比べ196百万円の減少（前年同期比1.0%減）となりました。超円高の定着と材料費の高騰などから、営業利益は579百万円と前年同期と比べ98百万円の減少（前年同期比14.5%減）となりました。経常利益につきましては、為替差損の減少等により、528百万円と前年同期と比べ167百万円の増加（前年同期比46.5%増）となりましたが、四半期純利益は364百万円と前年同期と比べ5百万円の減少（前年同期比1.4%減）となりました。

事業別のセグメントの業績は、次のとおりであります。

①輸送機器用事業

国内では震災後の自動車メーカーの減産による受注減や円高の影響を受け、海外においてはアジア市場を中心に販売は好調に推移しましたが、価格競争の激化や材料費の高騰等により採算的には厳しい状況となりました。その結果、売上高は14,565百万円と前年同期と比べ451百万円の減少（前年同期比3.0%減）となり、セグメント利益は355百万円と前年同期と比べ127百万円の減少（前年同期比26.4%減）となりました。

②一般産業用事業

震災の影響を一部では受けたものの、昇降・運搬業界の受注増にも支えられ販売は比較的好調に推移しました。その結果、売上高は4,035百万円と前年同期と比べ207百万円の増加（前年同期比5.4%増）となり、セグメント利益も141百万円と前年同期と比べ39百万円の増加（前年同期比38.3%増）となりました。

③その他

その他では、売上高が951百万円と前年同期と比べ47百万円の増加（前年同期比5.3%増）となり、セグメント利益も54百万円と前年同期と比べ8百万円の増加（前年同期比17.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は主に、現金及び預金、たな卸資産等の増加により26,330百万円（前期末比249百万円増）となりました。固定資産は主に、外国債券の売却および保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少等により11,413百万円（前期末比352百万円減）となりました。その結果、総資産は37,744百万円（前期末比103百万円減）となりました。

(負債の部)

流動負債は主に、仕入債務は減少しましたが、短期借入金の増加等により19,754百万円（前期末比214百万円増）となりました。固定負債は主に、長期借入金の約定弁済に伴う減少等により5,064百万円（前期末比561百万円減）となりました。その結果、負債合計は24,818百万円（前期末比346百万円減）となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、当期純利益および為替換算の影響により12,926百万円（前期末比243百万円増）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は518百万円となり、前年同期に比べ286百万円収入が減少しました。これは、主に売上債権の増減額1,625百万円の減少および仕入債務の増減額2,207百万円の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は215百万円となり、前年同期に比べ121百万円支出が増加しました。これは、主に有形固定資産の取得による支出474百万円、投資有価証券の売却による収入277百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は184百万円となり、前年同期に比べ292百万円支出が減少しました。これは、主に配当金の支払による支出149百万円および借入金の収支の差額が前期470百万円の支出超に対し、当期29百万円の支出超であったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績状況、今後の事業環境等を勘案し、当期の業績予想の見直しを行った結果、平成23年8月9日に公表いたしました平成24年3月期第2四半期累計期間における業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成23年11月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,112	6,216
受取手形及び売掛金	12,320	12,103
有価証券	76	76
商品及び製品	2,937	2,833
仕掛品	2,428	2,748
原材料及び貯蔵品	1,300	1,449
繰延税金資産	245	186
その他	834	889
貸倒引当金	△173	△173
流動資産合計	26,080	26,330
固定資産		
有形固定資産	9,017	9,100
無形固定資産	206	164
投資その他の資産		
その他	2,598	2,204
投資損失引当金	△50	△50
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,543	2,148
固定資産合計	11,766	11,413
資産合計	37,847	37,744
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,577	10,169
短期借入金	7,746	8,261
未払法人税等	118	100
賞与引当金	248	243
その他	849	978
流動負債合計	19,540	19,754
固定負債		
長期借入金	4,318	3,780
繰延税金負債	472	417
役員退職慰労引当金	381	375
退職給付引当金	73	78
関係会社整理損失引当金	144	143
資産除去債務	23	23
その他	211	245
固定負債合計	5,625	5,064
負債合計	25,165	24,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	10,644	10,859
自己株式	△341	△342
株主資本合計	14,006	14,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350	286
為替換算調整勘定	△1,844	△1,778
その他の包括利益累計額合計	△1,493	△1,492
少数株主持分	169	197
純資産合計	12,682	12,926
負債純資産合計	37,847	37,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	19,749	19,553
売上原価	17,001	16,887
売上総利益	2,747	2,665
販売費及び一般管理費	2,069	2,086
営業利益	677	579
営業外収益		
受取利息	13	9
受取配当金	18	18
不動産賃貸料	38	37
その他	81	39
営業外収益合計	152	104
営業外費用		
支払利息	89	102
手形売却損	8	7
持分法による投資損失	1	2
為替差損	340	11
その他	28	32
営業外費用合計	469	155
経常利益	360	528
特別利益		
固定資産売却益	8	2
投資有価証券売却益	184	2
貸倒引当金戻入額	86	—
投資損失引当金戻入額	18	—
役員退職慰労引当金戻入額	24	—
特別利益合計	322	5
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	146	9
会員権売却損	—	0
債務保証損失引当金繰入額	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23	—
特別損失合計	172	9
税金等調整前四半期純利益	510	523
法人税、住民税及び事業税	169	108
法人税等調整額	△43	22
法人税等合計	125	131
少数株主損益調整前四半期純利益	384	392
少数株主利益	14	27
四半期純利益	370	364

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	384	392
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△94	△63
為替換算調整勘定	△346	67
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△1
その他の包括利益合計	△449	1
四半期包括利益	△65	394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72	366
少数株主に係る四半期包括利益	7	27

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	510	523
減価償却費	550	480
のれん償却額	△2	△2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△67	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3	4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△37	△5
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△72	△0
受取利息及び受取配当金	△31	△27
支払利息	89	102
持分法による投資損益 (△は益)	1	2
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8	△2
有形固定資産除却損	1	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△184	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	146	9
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,330	295
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△415	△318
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,745	△461
その他	53	99
小計	950	690
利息及び配当金の受取額	32	23
利息の支払額	△80	△91
法人税等の支払額	△98	△104
営業活動によるキャッシュ・フロー	805	518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,389	△1,430
定期預金の払戻による収入	1,435	1,419
有価証券の取得による支出	△241	△42
有価証券の売却による収入	42	42
有形固定資産の取得による支出	△585	△474
有形固定資産の売却による収入	365	24
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	208	277
貸付けによる支出	△3	△3
貸付金の回収による収入	5	4
保険積立金の解約による収入	69	5
その他	2	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93	△215

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,693	1,905
短期借入金の返済による支出	△1,688	△1,398
長期借入れによる収入	1,953	70
長期借入金の返済による支出	△2,429	△606
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△149
少数株主への配当金の支払額	△3	—
その他	△1	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477	△184
現金及び現金同等物に係る換算差額	135	△24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	369	93
現金及び現金同等物の期首残高	4,905	4,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,274	4,778

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,017	3,827	18,845	903	19,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,020	1,671	14,691	63	14,755
計	28,038	5,498	33,537	967	34,504
セグメント利益	482	102	584	46	630

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	584
「その他」の区分の利益	46
内部取引消去	32
棚卸資産の調整	△27
減価償却費の調整	13
全社費用(注)	28
四半期連結損益計算書の営業利益	677

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,565	4,035	18,601	951	19,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,694	1,464	14,158	2	14,161
計	27,259	5,500	32,760	953	33,714
セグメント利益	355	141	496	54	550

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	496
「その他」の区分の利益	54
内部取引消去	△7
棚卸資産の調整	31
減価償却費の調整	4
全社費用(注)	1
四半期連結損益計算書の営業利益	579

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。